

ブドウと梨の魅力に
はまった会津美里町。
夢が広がる果樹農家。

はしもと りゅうたろう
橋本 竜太郎 さん(30代)

<会津美里町>

果樹農家
(農業)

2016年 Uターン

会津美里町へUターン

『会津美里町は会津盆地の西側に位置し、磐梯山を左手に、正面から朝日が昇る地域です。新鶴地区では山裾のなだらかな傾斜を利用した「国産オタネニンジン」の栽培が盛んでした。現在はその転作畑としてブドウや梨、柿やリンゴ等の果樹畑が広がっています。

会津若松市生まれの橋本さんは長野県での山小屋勤務を経て、地域おこし協力隊として会津美里町に移住しました。会津美里町に移住したきっかけ、住んでみての感想、農家の仕事をしてみての感想や夢等を橋本さんのブドウ畑にお伺いし取材しました。』

取材日 2022年10月12日

移住のきっかけ、農家のこと

<移住のきっかけ>

最初の就職先は不動産関係の会社で営業職として大阪、東京勤務を経験しました。退職後、自然や山登りが好きだったこともあり、長野県にある八ヶ岳の山小屋で働きました。そこでの経験から自然と「食」や「農業」への関心が深まったと思います。その山小屋で料理好きの妻との出会いがありました。妻の実家はサツマイモの専業農家をしていることもあり、食や農業の話をしているうち、次第に「自分でも農業をやってみたい」と志すようになりました。

私自身、農業は未経験ということもあり、働きながら学べる職場を探していたところ、地元に近い会津美里町でワイナリーの立ち上げのための地域おこし協力隊の募集を見つけました。将来、独立して就農したかったので、地域おこし協力隊の3年間で、農業や6次化事業の経験が出来るその内容はすごく魅力的でした。妻と相談し、会津美里町へ移住することにしました。

<会津美里町での仕事>

今は3年の任期を経て、そこで学んだブドウとご縁があった梨畑で就農しブドウと梨の果樹農家になりました。就農までは役場に相談などもしたのですが、全くの非農家から果樹栽培での新規就農は、会津では前例がなく、またブドウは収穫できるようになるまでに、植えてから4~5年かかるため、「とても厳しいよ」とアドバイスも頂



き心配もおかけしました。それでも挑戦したい気持ちがありましたし、地域おこし協力隊の時のつながりから、成園化している梨畑や農機具を貸して頂いたりして、無事、就農することができました。また、協力隊の時に学んだワイン用ブドウだけではなく、食用ブドウや和梨の栽培にも挑戦しています。

今年で就農して4年目。少しずつやりたいことが実現できてきました。

<会津美里町の暮らしと魅力>

小さなコミュニティなので人との距離がとても近いです。農業をやるうえで、地域での人とのつながりは大事ななと感じました。

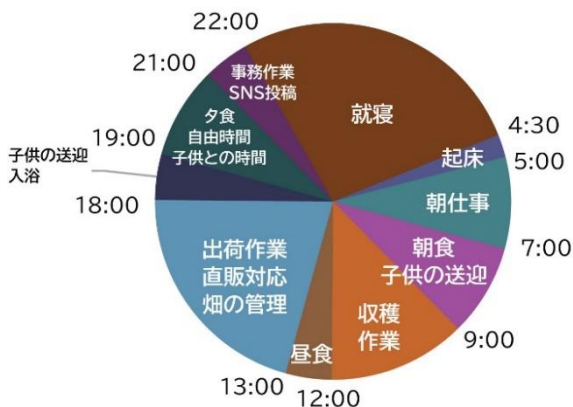
場所によっては田舎ならではの考え方が、旧態依然なところもありますが、良いところは取り入れつつ、どんどん新しいことにもチャレンジしていきたいと思っています。

地域おこし協力隊の活動や消防団や草刈り等の地域活動を通して、少しずつ顔を覚えてもらえました。顔を覚えてもらえる「あそこの畑が空いてるよ」とか、「農機具等も貸してあげるよ」など、農業をやる



今年植えた1年目のワイン用ぶどう畑にて

ある一日のスケジュール



ための情報もいろいろ教えてもらえるようになりました。知り合いになると田舎のネットワークは強いです。また周りはベテランの果樹農家さんも多く、分からないことがあればすぐに教えてもらえる環境も魅力的です。

<農業の魅力と将来の夢>

就農して今年で4年目になります。果樹栽培や農業経営の難しさを重々感じつつ、その反面とても奥が深く、やり方次第では、可能性が広がるとも魅力のある仕事だと思います。毎年が勝負の年ですが、今年は、昨年に引き続き、自社栽培したワイン用のブドウを100%使用したオリジナルワインのHana(カベルネソーヴィニヨン)とIbuki(シャルドネ)の他に、福島県オリジナル品種「あづましずく」という自社栽培ブドウを使用したワインもリリース予定です。このブドウは、味も良く、香り豊かで、そもそもが食用ブドウですが、栽培が難しく栽培を辞めていく方が多いという現状を知り、なんとか違う形で魅力を発信できないかなと力を入れてきたワインです。このワインを多くの方に知ってもらいたいです。

また将来的には、食用ブドウと和梨での直販部門とワイン部門に分け、ワイン部門では、私達の大切に育てたワイン用ブドウを自社醸造するための小さなマイクロワイナリーを建てたいと考えています。そこで造ったワインやブドウと、地域の食材を使った料理でおもてなしする場を作ることが私達の密かな夢です。

橋本さんの行動歴

会津若松市生まれ ⇒ 千葉県(大学) ⇒ 大阪府・東京都(就業) ⇒ 長野県(山小屋) ⇒ 会津美里町へ

移住を検討している方にアドバイス

住んでみないと分からないこともありますが、会津美里町には移住コーディネーターがいるので頼るのも一つです。



ワイン用ぶどう畑の前にて

現住人口 18,342人 男性/8,824人 女性/9,518人

面積 276.33平方キロメートル

標高 海拔 225.7m(会津美里町役場)

最寄駅 JR只見線「会津本郷駅」本郷地域 「会津高田駅」高田地域 「新鶴駅」「根岸駅」新鶴地域

最寄IC 磐越自動車道「新鶴スマートIC」

保・幼・こ 認定こども園 4園

小学校数 公立 4校

中学校数 公立 3校

高校数 公立 1校

病院数 病院 1か所 診療所 3か所 歯科 5か所

町の特徴

会津盆地の西側に位置し、大きく3エリアに分かれている町。会津伊佐須美神社は会津の中でも信仰の大事な場所である。また、会津本郷焼、高田梅、新鶴のオタネニンジンなど、特徴のある産品が揃っている。最近はブドウ栽培の延長でワイナリーもでき新しい取組にも積極的な地域である。

移住 サポート 窓口

会津美里町役場(政策財政課)

会津美里町移住・定住サイト「美の里でくらす。みさとぐらし」 misato-iju.jp

電話:0242-55-1171

メール:seisaku@town.aizumisato.fukushima.jp

